



元気からだを動かして遊ぼう! アクティブチャイルドプログラム (JSPO-ACP)

能登半島地震 被災地支援の紹介

日本スポーツ協会 (JSPO) は、親子で楽しむ「アクティブチャイルドプログラム (JSPO-ACP) 親子体験イベント」を全国各地で開催しています。これは、運動遊びを通して楽しく体を動かすことにより、健やかな心と体を育むことを目的とした取り組みです。

詳しくは ACP 総合サイトへ
(QRコード (右) または、「JSPO-ACP」で検索)



令和6年1月1日に発生した能登半島地震の被災地支援事業として、9月～12月に能登半島地域の6市町 (かほく市、珠洲市、志賀町、七尾市、穴水町、宝達志水町) の保育園・幼稚園および小学校を訪問し、約1,200名の子どもに JSPO-ACP を提供することで、笑顔をお届けしました。



お話をうかがいました

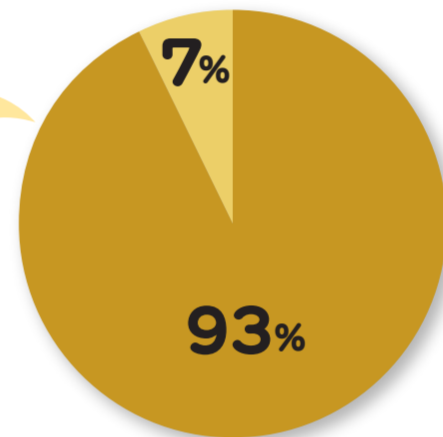


岐阜大学教育学部
春日 晃章 教授

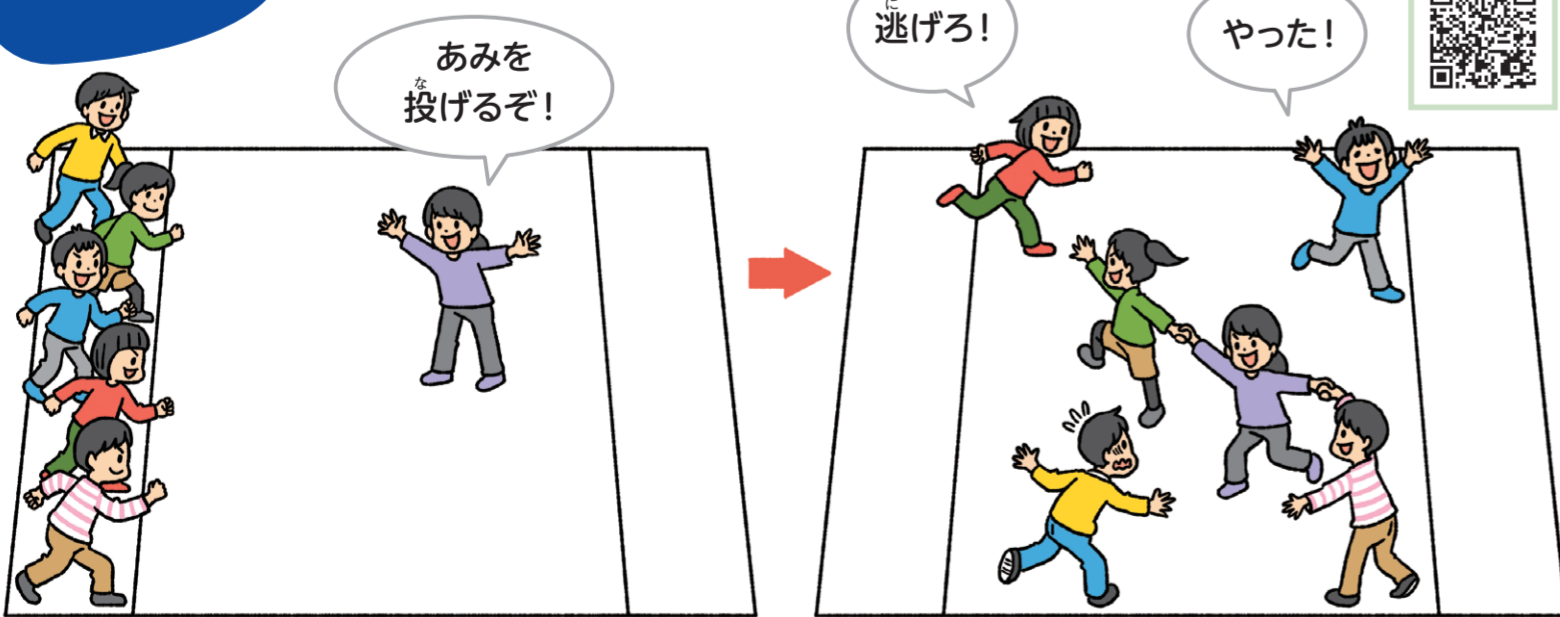
能登半島地震で被災した小学校の先生に「被災後、子どもたちが運動不足と感じるか?」と尋ねたら、73%の先生たちが子どもの運動不足を感じていると訴えていました。また、今回のような JSPO-ACP を用いた体育を体験した子どもたちの94%が「悲しい、不安、怖いといった感情が少しはなくなった」と言っています。まだまだ、地震前の日常に戻るには時間がかかりますが、被災地の子どもたちがもっと笑顔になれるようこのような活動を続けていきたいと思えます。

JSPO-ACP を一緒に体験した教師の感想

アクティブチャイルドプログラム (JSPO-ACP) を用いた今日のような取り組みは、被災地の子どもたちの心身のケアに役立つと思えますか。



さかな 魚とり



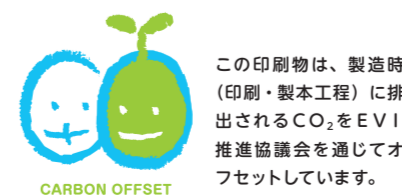
遊び方

- 1 オニ役の「漁師」を決め、他の子は「魚」になって片側の安全地帯へ入る。
- 2 漁師の「あみを投げるぞ!」の合図で、魚は反対側の安全地帯へ逃げる。
- 3 逃げる途中で漁師にタッチされた魚は、漁師の仲間 (あみ) になって手をつなぐ。
- 4 これを繰り返して遊ぶ。

工夫してみよう

- 漁師が増え、あみが大きくなったら、いくつかに分けてみよう。
- あみの間 (オニとオニの間) をすり抜けて逃げてみよう。
- 他の魚とぶつからないように、周囲をよく見ながら逃げよう。

〈問合せ先〉 JSPO (公益財団法人日本スポーツ協会) スポーツ科学研究室 <https://www.japan-sports.or.jp/> E-mail: spolab@japan-sports.or.jp



JSPO-ACP 総合サイトで本ポスターの PDF を公開しておりますので、ダウンロードのうえご利用ください。

